

「公正証書遺言」例 現金を寄付するとき

「公正証書遺言」の作成例

令和 年 第 号

遺言公正証書

本職は、遺言者甲の囑託により証人乙、証人丙の立会いの下に、遺言者の口述を次のとおり筆記し、この証書を作成する。

第1条 遺言者は、遺言者が所有する下記預貯金のうち、金〇〇万円を
特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン(所在地:東京都中野区本町1-32-2ハーモニータワー3F)に遺贈する。

(1)〇〇銀行〇〇支店 普通預金
名義 甲

(2)〇〇銀行〇〇支店 普通預金
名義 甲

第2条 遺言者は、下記の者を遺言執行者に指定する。

住所 〇〇〇〇

氏名 〇〇〇〇 職業 弁護士 生年月日 昭和〇年〇月〇日

2 遺言者は、遺言執行者に対し、本遺言内容実現のため預貯金等の払戻・解約・名義変更等に関する一切の権限を授与する。

[付言例(この付言は、遺言者の思いをご自由にお書きください)]

遺言者(私)は、世界の子どもたちの明るい未来のために、これまで支援を続けていたワールド・ビジョン・ジャパンに私の財産を有効活用してもらいたいとの思いから、この度の遺言をした。

本旨外要件

住所

職業

遺言者 甲 生年月日

上記遺言者は、印鑑証明書の提出により人違いではないことを証明させた。

住所

職業

証人 乙 生年月日

住所

職業

証人 丙 生年月日

上記遺言者及び証人に閲覧させ、かつ、読み聞かせたところ、各自筆記の正確なことを承認し、署名押印する。

遺言者

証人

証人

この証書は、令和 年 月 日、本職役場において、民法第969条第1号ないし第4号所定の方式に従って作成し、同条第5号に基づき本職署名押印する。

東京都〇〇

東京法務局所属

公証人